



医療・福祉アクションパネル いのちの輝きを大切にするためのアクション 2024.4.25_{Thr.} 16:30-18:30

場所：大阪大学 中之島センター 5階 いのち共感ひろば & オンライン

趣旨：

2025年の大阪・関西万博の「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマやSDGs「誰も取り残さない」誓いの実現や達成に向けての動きとして、「いのち会議」がはじまりました。「いのち会議」の12のアクションパネルと呼ぶ分科会のなかで、今回は、「いのち会議」の医療・福祉アクションパネルのキックオフの会となります。

アクションパネルでは、若者を含む産官学民の方々をお招きし、思いやアイデア、アクションについての話題提供をいただき、これら話題提供者も含んだ産官学民の参加者みなで対話を行っていきます。これは「いのち宣言」につながるとともに、2025年の万博会期を超えて、人の輪がひろがり、将来のアクションが強まり、そしてありたい未来社会をつくることに繋がることを目指してまいります。

今回は、医療・福祉分野の取組をなさっている企業・個人の方々にいらしていただき、その様々な活動についてのお話をいただき、その後、対話をいたします。ぜひいらしてください。

プログラム：

ご挨拶 堂目 卓生 「いのち会議」実行委員会副委員長、大阪大学SSI長
話題提供 林 泰臣 ノックオンザドア株式会社 代表取締役
(敬称略) 「てんかん患者・ご家族のためのスマホアプリnanacaraの開発と活用」
谷 由香利 塩野義製薬株式会社CSR推進部 こどもの未来支援室
山脇 智志 キャスタリア株式会社 代表取締役／African Mothers株式会社 取締役
「スタートアップと大企業のタッグが挑むアフリカでのモバイル母子手帳アプリの普及」
土井 ゆりか 堺市民、博士（神経科学）
「誰一人取り残さないデータエコシステムを考えよう」（仮題）
塚本 結風 神戸市立葺合高等学校
「生理休暇が取得しやすい社会にするためには」
対話セッション モデレーター（全体司会含む） 伊藤武志 大阪大学SSI教授

お申し込み：

フォームへのご入力をお願いします
<https://forms.gle/zDRAepBGHrWRwEnK6>



場所案内：

大阪大学中之島センター アクセス <https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>
いのち共感ひろば案内
<https://inochi-forum.org/action-report/extra/about-inochi-plaza/>



「いのち会議」「いのち宣言」について

「いのち会議」は、一人ひとりが地球の上で生かされている「いのち」という意識に立ってつながり、声を上げ、聞き合い、考え、話し、一つの声にしてグローバルなムーブメントにつなげていく場です。「いのち会議」は、①さまざまなテーマの解決や達成、新たな課題の発見等を進める「アクションパネル」、②自分が望むことや未来の社会に関して、小さな声を集める「いのちの声」、③これらの活動を通じて、人類が為すべきことを人類全体に向かって宣言する「いのち宣言」、という3つの取り組みを軸に進めています。「いのち宣言」は2025年の大阪・関西万博会場において世界に発信予定です。いのち輝く未来社会の実現に向け、「いのち会議」への皆様の参加を心よりお待ちしております。

※いのち会議の詳細やスケジュールは、いのち会議HPをご覧ください。
Newsにスケジュールを掲示しています。 <https://inochi-forum.org/>

